

# 第6回 京都府がん医療戦略推進会議の開催概要

## 1 日時

平成28年8月17日(水曜)午後3時から午後5時まで

## 2 場所

京都市上京区烏丸通上長者町上る龍前町 京都平安ホテル 1階 平安の間

## 3 出席団体

### <がん診療連携拠点病院>

京都府立医科大学附属病院  
京都大学医学部附属病院  
京都第二赤十字病院  
京都市立病院  
京都第一赤十字病院  
京都医療センター  
京都桂病院  
市立福知山市民病院

### <地域がん診療病院>

京都岡本記念病院  
京都山城総合医療センター  
公立南丹病院  
京都府立医科大学附属北部医療センター

### <京都府がん診療連携病院>

宇治徳洲会病院  
舞鶴医療センター

### <関係団体>

京都府医師会  
京都私立病院協会

### <京都府>

## 4 議題

### 1 報告

- (1)平成 28 年度予算、京都府がん対策推進計画の進捗状況について
- (2)都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の開催結果について

### 2 協議事項

各部会の活動報告について

## 5 議事概要・主な意見

### 1－（１）平成 28 年度予算、京都府がん対策推進計画の進捗状況について

- ・京都府の平成 28 年度がん対策関連予算について説明。
- ・国がん対策推進基本計画の見直しに向けた議論の状況について、情報提供。
- ・がん患者への口腔管理体制整備支援事業に係る協力依頼。
- ・平成 25 年度からの5か年計画である「京都府がん対策推進計画」の取組状況(平成 27 年度末時点)について、報告。

#### <主な意見>

○がんの年齢調整死亡率について、平成 29 年度末の施策目標が 71.8%であるが、現状は 78.9%である。目標達成について、どのように考えているか。

→ 京都府のがん検診の受診率について、まだ目標の 50%に到達しない状況である。ご指摘の件については、全国レベルでも同じような状況であるため、平成 29 年度末の達成は非常に厳しい状況であるが、京都府として、がん検診の制度設計を含め、国に要望していきたい。

○放射線治療機器等の更新についても、予算措置等の支援が必要。

○子宮頸がん予防について、がん対策推進計画にはワクチン接種率向上のため、市町村を支援と記載されているが、京都府の対応を教えてください。

→子宮頸がんワクチンの接種については、国の動向を踏まえながら対応していく。

### 1－（２）都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の開催結果について

平成 28 年 7 月 1 日に開催された上記会議について、厚生労働省からの伝達事項を中心に報告

#### <質疑>

特になし

## 2 各部会の活動について

### (ア)各部会からの活動報告

#### ○院内がん登録部会

- ・2か月に1度のペースで部会・研修会を開催しており、今年の6月で第35回目の院内がん登録部会及び研修会を開催した。
- ・今後の課題としては、平成28年1月からがん診療を行う病院に院内がん登録が義務付けられたことから、各病院からの研修会への申込みが増えており、実施する側がパンクしそうな状況である。何らかの予算措置を検討してほしい。

#### ○相談支援部会

- ・相談員のための相談支援マニュアルについての使用状況及び次回の改訂について協議。
- ・都道府県がん拠点病院協議会の情報提供・相談支援部会から示された相談に関する情報の見える化について、検討。
- ・地域相談支援フォーラム in 近畿について、打ち合わせを実施。
- ・今後の課題としては、「第1回地域相談支援フォーラム in 近畿」は大阪府で開催されたが、持ち回りであるため、今後京都府での開催も検討。

#### ○研修部会

- ・活動状況は、各病院の研修状況を取りまとめ、その情報を京都府 HP で掲載。
- ・メーリングリストを活用し他施設の研修情報をタイムリーに広報を実施。
- ・今後の課題としては、効果的な研修情報の共有の仕組みの検討、緩和ケア研修会のニーズが高まっている現状を踏まえ、かかりつけ医のレベルアップにおいても医師会との連携を密にして、情報共有を図る。

#### ○緩和ケア部会

- ・緩和ケア研修会の運営について、研修全般について検討。
- ・看護師向けの緩和ケア研修会の実施(平成27年9月と11月の計2回開催)
- ・緩和ケア研修会修了者向けのフォローアップ研修会を京都医療センターで実施(平成27年7月)
- ・緩和ケアの最新情報として、下記の3点について、本会議で情報提供。
  - ①今後、国で緩和ケアはがん対策のみならず、非がんについても対応を検討されている。
  - ②PEACE研修については、今後、基本研修とステップアップの2本立てになる可能性がある。
  - ③国からの補助金を受けて日本看護協会が実施していた看護師向け緩和ケア研修が、補助事業終了後、継続されない可能性もあり、今後 ELNEC-J研修にシフトされる可能性がある。

### ○外来化学療法部会

- ・外来化学療法加算の点数引上げ等についての情報交換。
- ・がん患者が、就労を継続しながら、治療を続けられるよう府全体としてがん患者への就労に関するアンケート調査の実施を提案。
- ・高齢者の外来化学療法については、JCOG 論文の紹介等を情報を共有。

### ○地域連携部会

- ・5 大がん及び前立腺がん連携手帳の普及・見直しを必要に応じ、検討。
- ・がんに係る地域連携手帳の運用状況アンケートを実施中。
- ・今後の課題は、パスの運用上のメリット・デメリットについて、検討していく。

## (イ)主な意見

### ○全体を通しての意見

- ・京都府は緩和ケア研修、がん教育など全国的にも先進的な取り組みをしていることが多い。もっと広報していくことが必要。

### ○院内がん登録部会関連

- ・データ二次利用はどのように考えているか。
- 府及び拠点病院にデータ還元されている匿名化された情報をどのように京都府のHPで公開していくか、院内がん登録部会で検討しているところ。全体の個票の二次利用については、都道府県がん診療連携拠点病院の院内がん登録の本部会に申請することで個票も含め、データの提供を受けられるようになっていく。

### ○相談支援部会関連

- ・がん相談員の定義はどうか。国は相談員の資格を作り、その資格を持っている者を持っている者を相談員としようとしているが、資格を取得したら出来るようなものでもない。
- ・地域連携室の職員も国立がん研究センターの相談支援の研修に参加して、連携を強化している。

### ○研修部会関連

- ・各拠点病院の情報がリアルタイムに入手できるよう今後も検討を続けてほしい。

## ○緩和ケア部会関連

- ・各がん診療連携拠点病院の緩和ケア研修会を修了する必要がある医師の定義を明確にしてほしい。

## ○外来化学療法部会関連

(就労に関するアンケート実施の提案について)

- ・がんと診断された時に、働いている企業に遠慮して退職するケースや、企業側もいつまで治療するか等わからず、うまく対応が出来ていない場合がある
- ・企業の人事担当者に直接連絡して対応することもある。企業個別ではなく、団体を通じて周知していくことが必要ではないか。
- ・産業医との連携も重要である。

## ○その他

- ・京都府と京都府医師会等でがんに関するかかりつけ医研修を検討しているのでレベルアップのため、拠点病院の先生方には是非協力をお願いしたい。
- ・かかりつけ医が病院・患者とある程度の治療の段階から関係を構築出来ることが重要。
- ・口腔ケアについて、地域の歯科医師会と連携して、口腔ケアの診療加算を取ることが出来る。がん患者についても口腔ケアをすることで、誤嚥等が減り、容体がよくなったと感じている。
- ・今年の10月23日から26日まで開催される第40回国際外科学学会世界総会について、情報提供。

以上